

■式子内親王 歌人。後白河天皇の皇女。宮内卿・俊成卿女とともに三才女と称された。

しきしないしんのう
頼長氏長者・1150＝

この頃、生まれる。後白河天皇の皇女。母は藤原季成のむすめ成子(しげこ)。亮子内親王(殷富門院)は同母姉、守覚法親王・以仁王は同母弟。高倉天皇は異母兄。

保元の乱・・1156＝6歳：

平治の乱・・1159＝9歳：賀茂齋院に卜定され、賀茂神社に奉仕、大炊御門齋院と称する。

11年間奉仕して、
清盛太政大臣1167＝17歳：
巖島神社・・1168＝18歳：
後白河院出家1169＝19歳：病のため退下。

以後、藤原俊成を和歌の師とする。

母方は文雅の道にすぐれ、有数の勅撰集の作者を多く輩出。題材の広汎さ、詠み口の自由さ、哀切な情緒表現にすぐれた内親王も当代女流歌人の第一に挙げられ、宮内卿・俊成卿女とともに三才女と称された。

鹿ヶ谷事件・1177＝27歳：母が死去。

源氏一斉蜂起1180＝30歳：弟の以仁王が平氏打倒の兵を挙げて敗死するなど、この年からの源平の争乱で多くの血縁を失う。
平清盛没・・1181＝31歳：俊成の息子定家とも親しく、以後、たびたび御所に出入りさせている。

平氏滅亡・・1185＝35歳：
九条兼実摂政1186＝36歳：
藤原秀衡没・1187＝37歳：この年、*俊成の撰進した千載和歌集に作品初出。

奥州藤原滅亡1189＝39歳：准三后。萱齋院・高倉宮とも呼ばれた。
源頼朝上洛・1190＝40歳：この頃、出家。法名は承如法。

鎌倉幕府始・1192＝42歳：父後白河院が崩御。

東大寺再建完1195＝45歳：
建久7年政変 1196＝46歳：失脚した九条兼実より明け渡された大炊殿に移る。

・ ・ ・ ・ ・ 1198＝48歳：*藏人橘兼仲の妻・僧観心の陰謀の妖言事件に捲き込まれ、一時は洛外追放を受けるが、出家して如法と号し難を免れ、処分は沙汰やみになった。師の俊成から歌論書「古来風躰抄」が捧げられる。

源頼朝没・・1199＝49歳：
梶原景時征討1200＝50歳：*後鳥羽院主催「正治百首」の作者にも選ばれている。春宮守成親王(のちの順徳天皇)を猶子に迎える話が持ち上がったが、この頃すでに病に冒されており、

・ ・ ・ ・ ・ 1201＝51歳：乳の患いで、没した。生涯独身を通した。
家集に「式子内親王集」がある。「千載集」に9首、「新古今集」に49首など、勅撰集に155首載っていて、新古今歌風を代表する女流歌人の一人になっている。